

令和3年度一般会計予算 歳入歳出総額 407億8,800万円

予算
審議
可決

令和3年度一般会計予算額は、前年度比8億8,500万円減の407億8,800万円、歳出の伸び率はマイナス2.1%となりました。

予算科目別に見た前年度予算額との比較では、土木費の伸びが最も大きく、前年度比17億9,833万円、37.6%の増加となりました。おもな要因は、多治見駅南市街地再開発事業の推進により、商業業務棟などの建築や周辺道路を整備することから、事業費が増大するためです。

令和3年度の事業、各常任・特別委員会における令和3年度一般会計予算に関する質疑から、一部をご紹介します。

令和3年度の事業の一部を紹介

新本庁舎建設事業費

26万円



新庁舎検討市民委員会を開催するために必要な経費です。

自治組織関係費

5,174万円



市と市民をつなぐ重要な役割を担い、地域強化のリーダー的存在である区長へ、区長活動謝礼金を年間12万円支給します。

文化会館施設整備費

6億6,733万円



施設・設備の老朽化により、大改修工事を行います。令和4年度完成予定です。

健康づくり推進事業費

1,061万円



多治見市作成の禁煙ステッカー

市民の健康実態を把握するための市民健康調査の実施、多治見市望まないタバコの被害から市民を守る条例の周知・啓発の強化、健康マイレージ事業に取り組みます。

ロケツーリズム推進事業費

1,300万円



令和3年4月から放送を開始したテレビアニメ「やくならマグカップも」を活用した観光造成・誘客事業を展開します。

交通安全施設整備費

1億7,750万円



市内に設置されている道路照明灯のLED化を進めます。

駅南市街地再整備事業費

33億5,129万円



再開発が進む多治見駅南地区の様子。多治見駅南地区市街地再開発組合が行う、住宅棟、商業業務棟、駐車場棟の建築などを支援します。令和4年秋の完成を目指します。

防災情報提供費

2,556万円



防災行政無線戸別受信機

土砂災害・洪水ハザードマップの市内全戸配布や、障がい者および一般市民を対象に防災行政無線戸別受信機の購入の補助などを行います。

(仮称)食育センター建設事業費

1,291万円



令和3年8月稼働予定の(仮称)食育センター事務室のネットワーク配線、システム設置などを行います。

総務常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症対策地方減収補填特別交付金とはどういった交付金なのか。また、1億円が計上してあるが、確定した額なのか。
答 新型コロナウイルス感染症の影響から、特定の期間減収となった場合、事業用の家屋と償却資産に対する固定資産税および都市計画税について、令和3年度に限り減額する制度であり、その減額分については、すべて国費で負担するものである。令和3年1月に申請の受け付けを開始しており、集計によると、おおむね1億円の固定資産税が減収となるため、その分を交付金として計上しているものである。

問 住民からの問い合わせに自動回答するシステム「チャットボット」の試験導入に約145万円が計上されている。これは、なんの用途か。
答 「チャットボット」は、おしゃべりするロボットという意味である。県内市町村のデジタル化を進める岐阜県が、オンラインシステムを構築することから、多治見市も参加する。基礎データをシステムに覚えさせ、質問があった場合にシステムが適切な回答を導き出す。例えば、「子どもができた」という質問をした場合、システムが「おめでとございます。妊娠した際の手続きはこちらです。」と案内する。質問者が求める回答にたどり着くよう導くシステムである。

経済建設常任委員会

問 多治見市陶磁器意匠研究所に導入された3Dプリンターおよび3Dスキャナーについて、今後の展開のためには、研究所内での職員の習熟が必要不可欠であるが、現在の進捗はどうか。
答 現在、3名の職員が習熟に努めている。4月に機器を披露した後、作成依頼の受け入れを開始する予定である。

問 若松町交差点改良事業（ラウンドアバウト）費は前年度予算に比べ、約2億円の増額であるが、この予算計上からみて、用地買収にある程度の目途がついてきたと解釈していいか。
答 そのとおりである。ある程度話が進み、用地買収の段階に入ってきているというところである。

問 交通安全施設整備費について、市内の道路照明灯をLED化するということが、工事内容はどのようか。
答 また、大きな災害等があった場合には、災害後の対応のこともあり、地元の業者からも要望が出ているかと思うが、発注方法はどのように考えているのか。
答 工事内容は、道路照明灯の頭の部分だけの取り替えを検討しており、電気工事店での工事と考えている。発注方法については、市全体の工事の発注については、地産地消の考え方を持っているため、今回の工事も同様と考えている。

厚生環境教育常任委員会

問 奨学資金給費事業費等について、令和3年度予算額が、令和2年度予算額から、約144万円増額している理由は何か。経済的な格差と貧困が進んでおり、本事業のニーズは高まっていると推測するが、給付対象人数が少なくなりに受け取れる。選定要件をもう少し緩和する必要があるのではないか。また、財源を拡充すべきではないか。
答 令和3年度の予算額が増額となる理由は、高校生向けの奨学資金について、令和3年度の給付人数が増えることにより増額するためである。大学生向けの奨学資金については、令和3年度は制度開始から4年目になるため、給付対象が1学年増え、給付人数が増えることにより増額するためである。

問 議会からの予算要望における増員については、大学生向けの奨学資金の給付人数を、4人から5人とし、令和4年度の給付対象者を1名増やす予定である。
答 議会からの予算要望に継続するメリットはどのようか。
答 第2種公認競技場は、トップアスリートが参加する大会が開催できるため、市内の中学生等と一緒に競技する貴重な機会となる。また、普段から質の高い練習ができることがメリットであり、競技人口の拡大にも貢献していると考えている。

本庁舎建設に関する特別委員会

問 令和3年度に4回開催予定としている多治見市役所新庁舎検討市民委員会は、幅広い議論を行うならば、4回の開催で終わると思えない。令和3年秋頃までに中間報告を行うことだが、この委員会では、討議テーマの結論を年度内に出したいのか。
答 多治見市役所新庁舎検討市民委員会は、新庁舎の供用開始まで進めるため、今年や来年で終わるものではないと考えている。委員会としては、令和3年秋頃までに、庁舎のありようなどについて、一旦結論を出し、中間報告としてまとめたということである。中間報告をまとめるまでに、委員会を4、5回開催する必要があると考えており、これからの進捗状況にもよるが、可能であれば、場所の決定まで考えている。

問 地区懇談会は、5月17日から6月26日の日程で行われる予定とのことだが、多治見市役所新庁舎検討市民委員会での議論との整合性はどのようか。
答 議論の進捗によるが、建て替えの必要性と、市役所に求められる役割の議論については、4月頃までにはある程度固めたいと考えている。少なくとも建て替えの必要性については確認が取れているものとして、5月の地区懇談会を迎えるスケジュールで新庁舎検討市民委員長と調整を行っている。